

## 平成二十七年度 校長挨拶 入学式式辞から

新入生のみなさん、入学おめでとう。みなさんの入学を教職員一同、心から歓迎します。今日からみなさんは河原城中学校の仲間です。共に素晴らしい学校をつくりましょう。新入生二二一名を加えた六八八名の全校生徒と職員で、新たな気持ちで河原城中学校の歴史を刻みたいと思っております。

本校は地域・保護者・関係諸機関の皆様を支えられている学校です。皆様のご協力を得て、本校の生徒たちは安心して学校生活を楽しむことができいております。今後とも、新入生を含め、河原城中学校の生徒たちのため、ご指導とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ここで、新入生の皆さんに河原城中学校のことについて少し触れたいと思います。河中では教科の授業は元より、色々な行事での経験の積み重ねやクラブ活動を通じて多くのことを学びます。特にクラブ活動は、小学校のクラブ活動より本格的です。河原城中学校は伝統的に部活動で培った心と体の持ち主が学校を支えてくれています。どの部も熱心に活動しています。そして部活動を通して人間を磨いています。社会に通用するさわやかなあいさつ、さすが中学生と言わせる礼儀作法、自分のまわりの人たちを思いやる心、自分を大切にする心を育てています。

ぜひ、どこかの部活動に入ってエネルギーを健全な方向にぶつけてください。

エネルギーを間違った方向にぶつけると、地域の方々を含め、いろんな人に迷惑をかけてしまいます。残念ながら過去に自分の心のコントロールができず、人を傷つけてしまったり、物を壊してしまったりした人もいました。勉強や部活、行事にも支障が出たこともあり、学校が大きく揺れた時もありました。河中では、昨年度より部活動や生徒会のメンバーが中心となって、河原城中学の行動の三原則を打ち出し積極的にアクションを起こしてくれました。

一つ目は『場を清める』ということです。掃除をして自分の周りをきれいにし、心を落ち着かせることです。きちんとしていないところをきれいにし、事に臨む。これは心を磨くことであり、感動の心を育むことにつながります。

二つ目は『時を守る』ということです。時間や期限を守ること。予定の開始前には姿勢を正し、心を静め、開始を待ちます。時間を大切にし、人を待たせない。約束を守る。これは相手を尊重することであり、積み重ねることにより信用につながります。

三つ目は『礼を正す』ということです。それは、相手に対して、礼儀をわきままえ、ほど良い緊張感を持って、人と接することです。朝の挨拶は人より先に。名前を呼ばれたら気持ち良く返事する。挨拶の意味は、心を開いて相手に迫るということです。これらの行動の三原則を実行し、多くの正統派、正義の味方が活躍でき、また、地域の方に愛される河中生になるためには、君たちを含めた全校生徒の協力が必要です。

今の純粋な気持ちを忘れずに、常に向上心を持ち、何事にも前向きに、全力で取り組むことができる河原城中学校を目指し、共にがんばりましょう。

最後に保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。職員一同、お待ちしております。初めてお子様を中学校に入学させ、ご心配な保護者の方もおられると思いますが、職員一同、力を合わせて、お子様の安全と成長に全力を傾けて参ります。お子様方は、この三年間で大きく成長されます。この大事な時期にお預かりするわれわれ職員は、大きな責任を感じております。ただ、河原城中学校の職員は若い職員も多いですが、ベテラン中堅の職員を中心とした教育のプロの集団でございます。それぞれ個性や能力を発揮し、皆様方のご期待のそえるものと信じております。

しかし、お子様の教育には何と言ってもご家庭の協力が一番大切だと考えています。今後、具体的にご理解とご協力をお願いしてまいりますので、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

それでは新一年生のみなさん、私たちがいつもみなさんのそばにいて、あたたく見守ることを約束して、式辞とします。

平成二十七年四月六日

大阪府羽曳野市立河原城中学校  
校長 杉浦規介